

■西原亀三 実業家、政治運動家。アジア問題に関心を抱いて“西原借款”、のちファシズムに反発し、画策。

にしはらかめぞう

明治6年政変 1873＝ 豊岡県与謝郡雲原村(京都府福知山市)で、製糸業を営む富農の長男に生まれる。

明治14年政変 1881＝ 8歳：

新体詩抄・・・1882＝ 9歳：

村の小学校を卒業後、隣村の杉山玄信に漢学を習う。家業を手伝ううち、

内閣発足・・・1885＝12歳：この頃、糸価暴落で没落し、

その直後、父の死にあい、加悦の機屋に丁稚にやられ、

帝国憲法発布 1889＝16歳：

足尾鉍毒始・・・1891＝18歳：

日清戦争始・・・1894＝21歳：

日清戦争終・・・1895＝22歳：薩摩治平からの出資を得て、福知山煉瓦製造支配人。

その後、舞鶴軍港工事に関与し、さらに_東京に出て、新聞の発送掛をしながら、雲原村の与謝郡より天田郡への編入を運動をするうち、神鞭知常の知遇をえ、

アノ国産化・・・1900＝27歳：

田中正造直訴 1901＝28歳：_神鞭の招きで上京、

_そのアジア問題についての王道主義に共鳴し、

日露戦争終・・・1905＝32歳：_日露戦争後、渡韓して、総督府の目賀田種太郎の財政改革攻撃に奔走、

韓国反日暴動 1907＝34歳：_ソウルに{共益社}を興し、綿織物販売に従事、

伊藤博文暗殺 1909＝36歳：

_さらに、ロシアとの貿易にも着手、朝鮮総督府に出入りし、

明治天皇没・・・1912＝39歳：

_在韓有数の実業家として寺内正毅総督にも知られようになり、

21ヶ条要求・・・1915＝41歳：{共益社}退社、

民本主義・・・1916＝43歳：*日本に引揚げ、すぐに寺内の紹介で中国にわたり、帰国して寺内内閣の成立をたすけた。再び寺内の私設公使のかたちで中国にわたり、500万円・無手数料の交通銀行借款をとりきめた(西原借款)。

本格政党内閣 1918＝45歳：この年にかけて、1億4,500万円にのぼる各種借款をとりきめたが、段棋瑞援助・8分内外の高利といった理由から民族運動のはげしい反対にあう。

大暴落・・・1920＝47歳：時局懇話会、

原敬首相暗殺 1921＝48歳：国策研究会などをおこし、

また、_上原勇作・田中義一の擁立運動、経済論策の発表、新党樹立運動などに活躍したが大成せず、

金融恐慌・・・1927＝54歳：*田中義一内閣成立後はその人事に反発して、のち宇垣一成擁立を策し、日本のファッション化に憤慨、

この頃から、_郷里の雲原村の顧問になって、村政に関わり始め、

満州事変・・・1931＝58歳：

五一五事件・・・1932＝59歳：_宇垣一成擁立運動をもおこない、宇垣が朝鮮総督になると、渡鮮するなどしながら、

帝人疑獄事件 1934＝60歳：再び、渡鮮。_全ての面で劣悪な環境にあった雲原村を経済更生村に指定させ、

芥川直木賞始 1935＝61歳：_村長になって、村政を主導、早速前年の室戸台風水害の復旧に対応して、大規模な砂防工事に着手、

二二六事件・・・1936＝63歳：またまた、渡鮮するなど画策し、

日中戦争始・・・1937＝64歳：*宇垣に大命下るに至るも、陸軍内部の反対で、辞退。ついに政局への関与諦め、

健保+総動員 1938＝65歳：以後、村政に専念、診療所を開き、

第二次大戦始 1939＝66歳：経済更生事業は一応終了するが、耕作道改修事業、さらには、耕地の交換分合と農家移転を推進、

日米開戦・・・1941＝68歳：国民健康保険組合を設置するなど、更生運動に尽力、その施策は全国農村の模範とされる。

敗戦・・・1945＝72歳：砂防工事完成予定であったが、なお続くことになり、

独立回復・・・1951＝78歳：

マーチン事件・・・1952＝79歳：_ようやく砂防工事が完成したのを見て、

TV放送始・・・1953＝80歳：_村長のまま、没した。

自伝「夢の七十余年」。郷里の西原文庫には膨大な「西原文書」と蔵書がある。